

9月
定例会

まだまだ続く 非常に厳しい財政事情

平成22年第3回定例会は、9月7日から9月16日までの10日間で行われ、提案された議案15件については可決・承認されました。また、請願1件は不採択となりました。

平成21年度
一般会計
決算

74億5,104万円
全員賛成で認定!

開会を宣言する藤石議長

平成22年度に繰り越して行われる事業です。

民生費	子ども手当システム導入委託料	1,084万円
	アザレア幼児園諸工事設計業務委託料	50万円
	アザレア幼児園屋根防水改修工事	1,070万円
衛生費	アザレア幼児園給食室増築工事	340万円
	新型インフルエンザ予防接種事業	409万円
消防費	環境美化集積所ストックヤード設置工事	498万円
	全国瞬時警報システム整備工事	771万円
教育費	幼稚園・小中学校地デジアンテナ工事	400万円
	第2小学校舎耐震補強工事	512万円
	第3小学校舎屋根改修工事	150万円
	歴史民族資料館改修工事	3,500万円
	重点分野雇用創出事業	557万円

平成21年度その他会計の決算です。

会計区分	歳入(収入)	歳出(支出)	差引額	議決結果	
特別会計	国民健康保険	28億8,728万円	28億7,967万円	761万円	全員賛成で認定
	老人保健	1,185万円	860万円	325万円	全員賛成で認定
	後期高齢者医療	2億1,615万円	2億 842万円	773万円	全員賛成で認定
	公共下水道事業	10億8,943万円	10億8,513万円	430万円	全員賛成で認定
	農業集落排水事業	1億2,165万円	1億1,932万円	233万円	全員賛成で認定
水道事業	収益的	5億 57万円	5億6,364万円	△6,307万円	全員賛成で認定
	資本的	9,988万円	2億6,439万円	△1億6,451万円	

一般会計	21年度	20年度	増減率
歳入総額	76億2,087万円	65億7,135万円	16.0
歳出総額	74億5,104万円	64億2,570万円	16.0
差引額	1億6,983万円	1億4,565万円	16.6
繰越すべき財源	980万円	4,746万円	△79.3
実質収支額	1億6,002万円	9,818万円	63.0
財政調整基金積立金額	1億2,811万円	4,060万円	215.5
財政調整基金取崩金額	0円	0円	0.0
減債基金積立金額	80万円	185万円	△56.8
減債基金取崩金額	0円	3,000万円	-
財調・減債基金現在高	19億3,482万円	18億 592万円	7.1

平成21年度一般会計決算は、20年度決算額に対し歳入歳出いずれも16.0%の増となっていますが、これは定額給付金や経済危機対策事業など国の施策によるものが主な要因です。臨時収入として、財産の処分および多額の寄付等により財政調整基金を1億2,810万6,000円積み増すことができました。また、基金の取り崩しをせずに済んだため、基金の残高は財政調整基金、減債基金を合わせて19億3,482万円を維持することができました。

何とか貯金を維持

平成21年度は特にこのようなことにお金が使われました。

総務費	電算管理費	1億 660万円
	定額給付金給付事業費	4億 252万円
衛生費	堆肥化センター事業化計画策定業務委託料	393万円
	三町清掃施設管理運営費	5億7,583万円
土木費	内原～大谷線道路整備受託事業費	2億4,501万円
	地方道路整備臨時交付金事業費	4,502万円
消防費	防災センター新築工事請負費	2,780万円
	飛越分団消防格納庫新築工事請負費	1,547万円
教育費	学校ICT環境整備費	4,694万円
	第一小学校舎耐震診断設計委託料	1,470万円
商工費	プレミアム商品券発行事業補助金	500万円
災害復旧費	中国・九州北部豪雨災害にかかる復旧費	1億 682万円